

郵便局員がお年寄りや子ども達を見守ります！

## 八雲町×郵便局 地域における協力に関する協定を締結

2月8日、八雲町と町内にある郵便局が『地域における協力に関する協定』を結びました。

この協定により、郵便局員が業務中に高齢者、障がい者、子どもの異変や道路、河川の異常、不法投棄などに気付いた際に町や消防、警察等に情報提供がなされ、より一層の生活の安心・安全が図られるようになります。



## 再生可能エネルギーで地域活性化！ 八雲町再生可能エネルギー 導入促進セミナー

現在、八雲町では再生可能エネルギーをまちづくりに有効な手法の一つとして検討しており、「八雲町再生可能エネルギー導入促進ビジョン」を策定中です。2月8日、はぴあ八雲にて、導入促進のための手法や地域としての受け入れ方、課題などの理解を深めるためのセミナーが開催されました。この日は、（一社）北海道再生可能エネルギー振興機構理事長鈴木亨氏のほか、（一財）エンジニアリング協会、名古屋大学から講師を招き、再生可能エネルギーを活用した地域活性化、地熱・風力発電のメリットやデメリットなどについて講演があり、参加者は知識を深めました。



## 木の温もりを感じながら！ 木育のひろば ～木であそぼう！

2月11日、シルバープラザにて「木育のひろば～木であそぼう！」を開催。八雲町地域教育力活性化推進協議会が主催となり町内の林業に携わる官公庁や山越郡森林組合等と協力し、木とふれあい地域の森を学んでもらうために開催され、会場には約200人が来場し、木のカレンダーやカスタネット等の手作りコーナー、スマートボール等のあそびのコーナーなどを楽しみました。また、町内に演習林を持つ日本大学の森林資源科学科の学生で、今年卒業する4人もスタッフとして参加しました。学生らは「八雲町に4年間通い森林と地域活性化について考えることができよかった。卒業してもまた八雲を訪れたい」と話していました。



## 白銀の世界で心地よい汗を！ 熊石・落部歩くスキーの集い

2月、各地域で雪深い白銀の世界を楽しむ歩くスキーの集いが開催されました。熊石地域では、2月5日、熊石歩くスキーの集い（町教育委員会主催）が開かれ、町民33人が参加し、熊石青少年旅行村内の1kmの特設コースを周回し、雪とのふれあいを楽しみました。また落部地域では、2月12日、落部歩くスキーの集い（落部スポーツクラブ主催）が開かれ、町民約40人が参加し、落部支所から落部～入沢地区の水田地帯を一周する7kmと2kmコースに分かれ歩くスキーや、スノーモービルで引っ張るバナナボート、雪中焼肉を楽しみました。

